



なはで暮らし、働き、育てよう！
笑顔広がる元気なまち NAHA
～ みんなでつなごう市民力～



第5次 那覇市 総合計画

概要版

2018（平成30）年



那覇市

なはで暮らし、働き、育てよう！ ～ みんなでつなごう

まちづくりの姿勢：協働の絆・平和の絆

基本構想

めざすまちの姿

多様なつながりで
共に助け合い、
認め合う安全安心に
暮らせるまち NAHA

互いの幸せを
地域と福祉で支え合い
誰もが輝くまち
NAHA

基本構想を推進するために

市民との信頼を深め、
効率的で効果的な行財政運営を行う

市民との信頼を深める職員の育成と

基本計画



未来への視点：「つながる力」を広げる

小さな「わ」が
大きな「Wa」に広がる
協働によるまちづくり

地域の力が重なる
安全安心のまちづくり

交流の輪を広げ
平和を希求するまちづくり

人権が尊重され、
誰もが心豊かに安心して
暮らせるまちづくり

地域で暮らし
地域で支えるまちづくり

すべての人が健康で
生き生きと暮らせる
まちづくり

身近な地域で
良質かつ適切な医療が
受けられるまちづくり

衛生的で快適に暮らし、
健康危機にも強いまちづくり

実施計画

基本計画にもとづいて3年間の具体的な事業計画を策定します。

笑顔広がる元気なまち NAHA

市民力 ～

・共生の絆・活力の絆・共鳴の絆

次世代の未来を拓き、
豊かな学びと文化が薫る
誇りあるまち
NAHA

ヒト・モノ・コトが
集い、育ち、ひろがる
万国津梁のまち
NAHA

自然環境と
都市機能が調和した
住みつづきたいまち
NAHA

組織づくり・効率的で効果的な行財政運営を行う

視点・「稼ぐ力」を高める視点・「ひきつける力」が輝く視点

子育てが楽しくなる
まちづくり

自らの力で未来を拓く
子ども達を応援する
まちづくり

生涯学習を推進し、
地域の教育力を
向上させるまちづくり

郷土の歴史、
伝統文化・芸能にふれあい、
新たな文化を創造する
まちづくり

ビジネス・リゾートと
歴史・文化が融合する
観光まちづくり

様々な産業が集い・育ち・
ひろがるまちづくり

産業を支える市民と
その労働環境を整える
まちづくり

中心市街地を活かした
まちづくり

省エネを実践し、
資源が循環するまちづくり

自然環境が育まれた
那覇らしい
亜熱帯庭園都市のまちづくり

暮らして良し歩いて楽しい
快適なまちづくり

災害に強い都市基盤の整備で
安全安心のまちづくり

那覇の魅力と特性を活かした
土地利用を進めるまちづくり

事業の効果や財政状況を評価・勘案して毎年度見直し改定します。

なはで暮らし、働き、育てよう！ 笑顔広がる元気なまち NAHA ～みんなでつなごう市民力～

万国津梁の精神で大海原を舞台に雄飛した琉球王国の文化と歴史を今に受け継ぐ私たちの那覇市は、1921(大正10)年に市制を施行して以来、美しいまちなみと亜熱帯特有の自然が調和した都市を形成してきました。

沖縄戦によるゼロからの再出発を余儀なくされ、さらには、米軍による統治を経験してきたものの、平和と自治を希求する市民の力によって、少しずつつつのにぎわいを取り戻してきました。産業や経済、医療、教育、文化などの都市機能を集積させながら、今では、県都としての風格を備えた都市へと発展しています。

このような激動の時代を歩んできた本市は、本計画期間中に市制施行100周年を迎えます。先人たち

のたゆまぬ努力に想いを馳せ、これまでの100年で築き上げた風格を大切にするとともに、これからの100年に向けて確実な一歩が踏み出せるよう、新たな礎を築いていかなければなりません。

私たちは、輝かしい未来に向かって歩みながら、一人ひとりの市民の力をみんなでつないでいくことをまちづくりの基礎とします。人々が支えあう中で、愛着と誇りを持って暮らし、働き、子どもの成長を楽しむ、そのような市民の笑顔が広がる「わったー自慢」のなは、那覇、NAHAを築いていきます。



本計画の推進に当たっては、まちづくりの担い手一人ひとりを結びつける「絆」が重要となります。互いの絆が深まれば、全ての施策の成果がジグソーパズルのようにつながり、やがて面として、

市全体に広がります。次の5つの絆を築いていくことをまちづくりの基本的な姿勢とします。

協働の絆

情報の共有と対話の積み重ねにより、互いの信頼を深めながら、地域への愛着と誇りを持ち、様々な担い手の特性を活かした連携の輪をつなぎます。

平和の絆

過去の苛烈な体験を胸に刻み、先人の平和を願う強い想いを引き継ぎ、さらに発信することで、次代を担う子ども達が安心して暮らせる未来を創ります。

共生の絆

寛容の心が広がり、世代や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、また、性の多様性を尊重し、全ての人々に優しい社会を築きます。

活力の絆

まちの活性化に資する地域資源を最大限に活用し、まち全体が市民の笑顔と活気にあふれ、明日への活力がすみずみまで連鎖する社会を築きます。

共鳴の絆

地域や他自治体の好事例を学び、気づきを共有するとともに、積極的なチャレンジにより成功体験を重ねながら、発展に向けた人々の想いを響かせます。



まちづくりの将来像として掲げたまちの姿を具体化するために、5つのめざすまちの姿によって進むべき方向性を示します。これらは、それぞれ独立する

ものではなく、互いに密接に連携しながら本市の将来像を実現するものです。

自治・協働・男女共同参画・平和・防災・防犯

多様なつながりで共に助け合い、 認め合う安全安心に暮らせるまち NAHA



イチャリバチョーデーとユイマールの精神でおおらかなコミュニティを築きながら発展してきた本市は、個人や個性を尊重し、多様な生き方が認められる素地が整っています。挨拶から始まる交流が世代を超えてつながり、市民みんなが主役となり楽しく安全安心に暮らせるまちをめざします。

そのために、お互いが思いやりや譲り合いの気持ちであふれ、心と心が響きあい・紡ぎ合う協働によるまちづくりによって地域の力を高めていきます。小さな「わ」が大きな「WA」※1へとつながるように、自助、近助※2、共助、公助の役割を確認し、地域の人々と行政が対話を重ね、小学校区を対象としたまちづくりを進め、地域の課題解決に協働で取り組みます。防災・防犯に関する活動等を通して、地域が結束し

た誇り高いまちづくりを進めます。さらに、国内外との交流の輪を広げ、恒久平和を希求する市民の想いを未来へと発信します。男女が対等な立場で活躍することや性の多様性を認識しながら、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

※1 (市民提案)地域の通り会やサークルなどの小さなグループである「わ」が、様々なグループとつながることで市全体に大きく広がり、さらに、国際都市として調和した「WA」へと発展させたいという想いが込められています。

※2 (市民提案)近助とは、共助よりもより身近な地域で思いやりや譲り合いの心を基本にした自然に出てくる助け合いを指し、近年使われ始めた言葉で、人々をつなぐ絆への市民の願いが込められています。

小さな「わ」が大きな「Wa」に広がる協働によるまちづくり

自治会や校区まちづくり協議会などが活発に活動するまちをつくる

◆協働によるまちづくりを推進するうえで、核となる自治会のさらなる活性化や校区まちづくり協議会を全市域に広げることで、地域の新しい人のつながりを発見し、更なる地域コミュニティの活性化を図ります。



市民が幅広い活動に参加する仕組みが整ったまちをつくる

◆地域の課題を認識し、地域活動の担い手として活動する人材、地域でまちづくり活動のコーディネーターとして活動する人材や市の事業に提言・発信できる人材を育成します。
◆ボランティアの登録や人材データベースの登録を増やし、活動を促進します。

地域の力が重なる安全安心のまちづくり

地域の防犯・交通安全活動を推進し、安全安心を実感できるまちをつくる

- ◆「地域の安全は地域で守る」という防犯意識のもと、市民、事業者、警察、市が連携を強化しながら、「ちゅうさん運動」の推進と自主防犯組織による地域防犯パトロール活動や交通安全活動を積極的に推進し、地域住民・組織による防犯及び交通安全に対する意識を高め、安全に安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

相談体制が充実した暮らしを守るまちをつくる

- ◆消費者教育の充実に努め、消費者被害の未然防止・拡大防止を図ります。また、消費生活相談体制の更なる充実及び消費生活センターの周知徹底に取り組みます。
- ◆市民の生活上の問題や個人的なトラブル等について、各種専門家のアドバイスを受けることができる環境の提供に取り組みます。

災害対応力の高いまちをつくる

- ◆市民の防災意識及び知識の向上並びに災害伝承を図るとともに地域の防災に関する人材の育成に努めます。
- ◆災害時応援協定の締結を推進するとともに、防災訓練などを通して、災害時に迅速かつ円滑な連携が取れるような体制の構築に努めます。
- ◆消防力の整備指針に基づく施設、部隊等の整備をすすめ消防力の強化を図ります。



交流の輪を広げ平和を希求するまちづくり

平和を希求する想いを発信し、
平和の尊さを受け継いでいくまちをつくる

- ◆先の大戦における沖縄戦の経験を教訓に、恒久平和を希求する想いを内外に発信していきます。
- ◆本市に残された米軍の那覇港湾施設(那覇軍港)の返還、米軍の事件・事故に対する取り組みを進めていきます。



国際交流で、つながり、ひろがるまちをつくる

- ◆姉妹・友好都市との友好交流のつながりを活かしながら、様々な分野での交流・協力関係を築き、幅広い国内外の交流を推進していきます。
- ◆次世代を担う青少年の国際感覚をもった人材育成と、姉妹・友好都市との相互理解を深めるため、那覇市国際交流市民の会と連携しながら、交流の機会を提供します。



人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちづくり

一人ひとりの人権が尊重され、誰もが心豊かに安心して暮らせるまちをつくる

- ◆多様性を認め合い、人権が尊重され、心にゆとりを持った幸せな生活ができるように、啓発機会や情報提供、相談体制などを充実させていきます。
- ◆性別等にかかわらず、個人や個性が尊重され、多様な生き方が認められ、自らの意志によって社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保される社会の実現をめざします。

互いの幸せを地域と福祉で支え合い 誰もが輝くまち NAHA



超高齢社会の到来、少子化及び核家族化が進行する中においては、地域のつながりがより重要になります。すべての人が自分らしく輝き地域の一員として見守り・見守られ心身ともに健やかで安心して暮らせるまちをめざします。

そのために、地域と世代がつなぐ支え合いにより、子どもも、お年寄りも、障がいのある人もない人も、皆が夢や生きがいを持ち、小学校区などの地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、誰もが健康で文化的な生活を営む環境を整え、特に

夢や希望にあふれる子どもたちへのセーフティネットを広げます。一人ひとりが自らの健康づくりに取り組むよう、市民の健康意識を高めるとともに、誰もが身近な地域で良質かつ適切な医療を受けられるまちづくりを進めます。小学校区などの住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援が包括的に確保される体制を確立します。大災害や感染症等の原因により生じる健康危機から市民や来訪者の健康を守る体制を整えます。

地域で暮らし地域で支えるまちづくり

地域 みんなが、支え合うまちをつくる

- ◆誰もが安心して暮らせるよう、地域基盤整備づくりを推進します。
- ◆関係団体との連携を強化し、必要な人に最適な支援が届くよう、相談体制づくりを推進します。
- ◆心のバリアフリーを推進し、誰もが輝く地域づくりを目指します。
- ◆大災害時における避難行動要支援者を地域で支え合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めます。



小学校区などの身近な地域の中で、高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくる

- ◆高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、自立した日常生活の支援が包括的且つ継続的に確保された体制を構築、維持します。
- ◆介護保険サービス事業所等の適正指導を継続的に実施します。



障がいのある人が安心して暮らし、働けるまちをつくる

- ◆障がいのある人の権利及び地域での自立生活の啓発及び促進を目指します。
- ◆自立や社会参加の促進に役立つ社会環境の整備や障害福祉サービス提供体制の充実を目指します。
- ◆障がいのある人の就労を促すとともに、就労後の相談や事業所との問題解決をサポートしていくことにより、障がいのある人の職場定着を目指します。

子どもの貧困対策をすすめて子ども達が夢を持って成長できるまちをつくる

- ◆支援対象となる子ども一人ひとりの実態に基づき、関係機関と連携しながら個別に支援を行います。
- ◆支援が必要な子ども達のための居場所をNPO等と連携しながら運営するとともに、子ども達を繋ぎ支援を行います。
- ◆子どもの居場所の提供を行う団体の活動を支援します。
- ◆地域の人々が日常的に子ども達に関わり見守ることができる機会を提供していきます。また、企業と連携する場のコーディネートを行います。

すべての人が健康で生き生きと暮らせるまちづくり

市民一人ひとりが健康づくりを実践するまちをつくる

- ◆適切な食習慣や適度な運動を心がけ、禁煙や多量飲酒の防止により、生活習慣病の増加を減らし、生活の質の低下や社会負担の増加等の抑制を図ります。
- ◆市民を取り巻く家庭・地域・職場等の様々な関係機関・団体が連携し、健康づくりを進めることで生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症及び重症化予防に取り組みます。

市民一人ひとりがこころの健康を維持することができるまちをつくる

- ◆市民への自殺予防に関する啓発を進めるとともに、相談機能の充実等支援体制の強化を図ります。

親と子が地域の中で共につながり健やかに暮らせるまちをつくる

- ◆全ての妊婦に対する妊娠期からのサービスの充実を図ります。
- ◆乳幼児の健康支援から子育て支援サービスへつながる包括的な支援サービスの充実を図ります。
- ◆すべての乳幼児が乳幼児健診を受診することで、親がこどもの発育・発達を確認できる体制整備を図ります。

身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり

地域医療の充実したまちをつくる

- ◆那覇市立病院及び地域病院による病院輪番制により、小児をはじめとする救急医療体制を維持するよう支援します。
- ◆地域医療機関との連携に基づき小児・周産期医療の提供を確保します。
- ◆那覇市立病院が地域医療支援病院として、かかりつけ医との連携を図り地域医療を充実させることで、在宅医療の推進に寄与します。

適切に救急医療につなげるまちをつくる

- ◆予防救急の推進と救急車の適正利用を啓発するとともに、消防力の整備指針に基づく救急隊の配備推進と、さらなる救急隊員教育体制の充実強化を図ります。

健診受診の意識を高め、 医療費の適正化を進めるまちをつくる

- ◆生活習慣病を予防し、医療費を適正化するため、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施し、生活習慣の改善が必要な方へ特定保健指導を実施することで、メタボリックシンドローム該当者及び予備群者を減らし、健康寿命の延伸を図ります。

衛生的で快適に暮らし、健康危機にも強いまちづくり

衛生的で快適な生活環境を守るまちをつくる

- ◆食品衛生、生活衛生及び保健衛生に係る市民等の危害を未然に防止するとともに、衛生基準の向上を図ります。



健康危機管理体制が整ったまちをつくる

- ◆感染症の発生とまん延を防止するため、市民や関係団体等へ感染症に関する正しい知識の普及・啓発を行うとともに、感染症の相談・検査体制の充実を図っていきます。
- ◆関係機関や団体との連携をとりながら、健康危機を管理する体制を整えていきます。



次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る 誇りあるまち NAHA



まちづくりはひとづくりと言われるように、これからの新しい時代を切り拓く人材こそが重要となります。全ての成長過程にある子ども達の主体性や創造性を育み、向上心に富む市民が、輝かしい未来に向かって歩む、豊かな学びと文化が薫る、誇りあるまちをめざします。

そのために、地域全体で子どもや若者の成長を応援し、市民が夢と希望にあふれ、子育てが楽しくなるまちづくりを進めます。保育や教育の充実のためには、家庭や地域、学校が一体となり、子ども達をあたたく見守る環境が重要であり、市内の小学校

をその拠点にします。子ども達が知的好奇心を高め、自ら学び成長していくプロセスを応援するとともに、その未来を拓く教育を推進する環境を整えます。いつでもどこでもだれでも学びやスポーツを楽しめるまちづくりを進めます。

また、しまくとぅばに身近に接するとともに、郷土の歴史や伝統文化等の価値を再確認する機会を創出し、それらにふれあい、受け継ぎながら、新たな文化を創造・発展させ、日常に文化が薫るまちづくりを進めます。

子育てが楽しくなるまちづくり

すべてのこどものそれぞれの時期に適した居場所のあるまちをつくる

- ◆子育て世帯の状況や保護者の希望に応じ、教育・保育のサービスの量・質、ともに充足を図ります。
- ◆児童が安全安心に過ごせる環境の整備を推進します。
- ◆子育て支援事業の充実を図るとともに、相談・支援の拡充を進めます。また、「子育て世代包括支援センター」(仮称)の導入を目指します。



支援が必要なこどもや保護者に必要な支援が届くまちをつくる

- ◆児童とその保護者が抱える課題に寄り添い、支援を行いながら、児童虐待の発生予防と発生時の適切な対応に取り組みます。
- ◆発達障がい等により支援を要する児童には、相談体制の充実等、環境整備を図ります。
- ◆ひとり親家庭へ経済的に自立した生活が出来るよう支援の充実を図ります。
- ◆こどものみらいを応援する取組み、環境づくりを進めます。



自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり

自ら学び心豊かに成長する子どもを応援するまちをつくる

- ◆小中一貫教育の取り組みを柱とした継続的計画的な学習指導、生徒指導を行い、学力の向上や問題行動等への取り組みを行います。また、学校全体として学校の課題を共有し「チーム学校」として子ども達を支援します。
- ◆教師が高い資質や能力を持ち教育実践が行えるよう、研究、研修等の充実に努めます。



学校施設の補修・整備をすすめ、安全安心な教育環境があるまちをつくる

- ◆改築・耐震改修による施設整備や中長期的な補修等維持管理、また、借用校地の用地取得を順次行います。
- ◆単独調理場を、2校から3校分の給食調理を行う新たな小規模給食センターとして整備をすすめます。



生涯学習を推進し、地域の教育力を向上させるまちづくり

どこでも誰でも生涯学習ができるまちをつくる

- ◆社会教育施設の整備・充実、学習情報の収集と提供、相談体制の整備に努めます。
- ◆地域課題や地域特性を取り入れた事業や、幅広い世代間交流事業を実施し、地域で活躍する人材の育成を支援します。



どこでも誰でも生涯スポーツができるまちをつくる

- ◆生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現をめざします。



学校が学びや育ちの拠点となるまちをつくる

- ◆学校施設を活用し、多様な学習機会の場を設けると共に、地域の協力と人材活用を図り、子ども・若者の育成・支援に関わる団体や各関係機関との連携を推進します。
- ◆地域学校連携施設や学校体育施設等の開放に努めます。



郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり

文化が保存され継承されるまちをつくる

- ◆指定文化財の保全・整備を推進し、一般公開により情報を提供し、郷土の文化財に関する住民の理解を深めます。
- ◆文化財講座等の講演・解説会を行います。
- ◆しまくとぅばの保存・継承・発展の取り組みを進めます。



市民の文化芸術・芸能活動を支援するまちをつくる

- ◆市民との協働・参加型文化事業を推進します。
- ◆新文化芸術発信拠点施設を拠点とし、市民の文化活動の機会拡充や、文化施設情報・イベント情報など、文化に関する情報を発信します。



ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁のまち NAHA



我が国の南の玄関口として、アジアに開かれた本市は、アジアのダイナミズムを取り込むことによる新たな時代の到来が実感できるようになりました。この機会を確実に捉え、国内外から優れたヒトやモノが集い、そこから新たなモノやコトの付加価値を生み出し、世界へ羽ばたくことで、躍動感がみなぎる万国津梁のまちをめざします。

そのために、先人が築き上げた歴史や文化、亜熱帯特有の気候や自然環境を活かし国内はもとより外国からの旅行者が何度も訪れたい観光地としての地位を築きます。また、経済成長の著しいアジアにあって主要都市との近接性等の地理的優位性を活か

したビジネスとリゾートが融合する都市として新たな地位を築きます。さらに、広域での幅広い連携のもと、リーディング産業である観光産業や市内に集積が進む情報通信関連産業はもとより、戦略的成長産業に位置付けられた国際物流関連産業など、様々な産業の活性化や育成・振興を図ります。また、マチグワー※3等の地域資源を活かした地域の活性化を図るとともに、市民一人ひとりの働く力をさらに発揮できる労働環境を整え、商都としての活力を高めます。

※3 昔ながらの商店街

ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり

国際化に対応した観光環境の整備されたまちをつくる

- ◆関係機関と連携しながら誘致宣伝事業の展開、及び受入体制整備の推進に努めます。
- ◆観光・リゾート関連産業の人材育成を図り、また多様なイベントの開催などにより、一層の活性化に努めていきます。



那覇らしい観光資源の発掘・創造と魅力のあるまちをつくる

- ◆国内のみならず海外の観光客にも魅力的な世界水準の観光リゾート地となることを目標に掲げ、観光振興を進めていきます。
- ◆琉球王国の歴史の学び・体験メニューの充実を図ります。
- ◆伝統的な文化の継承・発信と新たな若者文化の発信、交流を図ります。
- ◆那覇ならではの地場産品、物産の継承・発掘と魅力向上を図ります。



様々な産業が集い・育ち・ひろがるまちづくり

戦略的産業及び新たな産業の振興により稼げるまちをつくる

- ◆産業を通して経済の拡大に向けた各種取組みを推進します。
- ◆戦略的産業(観光産業、情報通信産業、物流)の企業誘致を推進し、振興を通して地域経済を活性化し、域外収入の向上を目指します。
- ◆インキュベーション施設の強化と企業支援の施策を促進します。
- ◆物流・交流拠点となり、その地理的優位性を活かし、21世紀の万国津梁を目指します。



商工業が発展するまちをつくる

- ◆独自産業の育成、地場産業の振興、伝統的工芸産業のブランド化と経営基盤強化を支援します。
- ◆中小企業の販路拡大を支援し、商談の機会につなげる支援を行います。
- ◆小規模企業者の資金調達を支援します。
- ◆創業後、維持発展するための支援をします。
- ◆商工団体等との連携強化を目指します。



農水産業が活き活きとしたまちをつくる

- ◆漁業収益の向上・経営の安定化を図り、新規就業者や後継者の確保に取り組むとともに、市民・行政・民間企業が協働して、総合的に水産業の振興に取り組みます。
- ◆消費者の食に関する安全安心を求めるニーズの高まり、農水産物のブランド力強化に向けて、新鮮で安全安心な農水産物の供給に努めます。



那覇港の物流・交流拠点機能を強化し、世界に開かれたまちをつくる

- ◆利便性の高い港湾の整備・拡充を推進します。
- ◆国際物流関連産業の集積を図ります。
- ◆大型旅客船が寄港する国際クルーズ船基地としての機能を強化します。
- ◆既設ふ頭の再編、利用転換するとともに、臨港交通体系の充実を図ります。



オープンデータが活用されるまちをつくる

- ◆市の保有する公共データをオープンデータとして公開し、二次利用を促進します。
- ◆産学民官で連携しビッグデータ・オープンデータの有効活用について検討します。

産業を支える市民とその労働環境を整えるまちづくり

みんなが笑顔で楽しく働きやすいまちをつくる

- ◆自分たちの生活ニーズを自分たちで確保できる社会の実現を目指します。
- ◆非正規雇用を改善し、正規雇用率を向上させるための施策を講じます。

産業を支える人材が育つまちをつくる

- ◆各産業に必要な人材の育成やマッチング支援の充実を図ります。
- ◆就職の相談の充実により就業者数の増加を目指します。
- ◆各種施策により人材不足の解消を目指します。
- ◆高齢者や子育て等により時間的制約のある方も一員となって産業を支える社会を目指します。

中心市街地を活かしたまちづくり

商店街やマチグッーなどが賑わうまちをつくる

- ◆古き良きマチグッー文化と新たな市街地の調和の取れた再生を図ります。
- ◆民間活力を活かした商環境の整備促進や空き店舗・空き地等既存資源の有効活用、新たな魅力の創出等、経済活動の活性化を図ります。



中心市街地の再整備などを行い魅力あるまちをつくる

- ◆中心市街地の魅力である第一牧志公設市場の再整備に取り組めます。
- ◆商店街や通り会と連携し、アーケードや水上店舗の課題解決に取り組めます。



自然環境と都市機能が調和した 住みつづけたいまち NAHA



沖縄らしい亜熱帯庭園都市を形成してきた本市は、魅力にあふれ住みよいまちとして発展してきました。これからも低炭素社会の実現に向けた地球にやさしい環境共生都市と安全安心で快適な都市機能を調和させ、誰もが訪れたい、住みつづけたいまちをめざします。

そのために、市内にある貴重な自然環境と多様な生態系を後世に残し、環境再生活動に積極的に取り組むとともに、地球温暖化対策に資する取り組みを推進します。災害に強く、安全安心・バリアフリーで快適な

道路や公園、交通システム、ライフラインである上下水道等必要な都市基盤の整備とともに、市民や事業者との連携により、公園等のあり方を見直し、時代に適した再活用を図ります。また、亜熱帯地域にふさわしい緑と水辺空間を保全・創出するとともに、西海岸に広がるウォーターフロントエリアの整備を進めるなど、那覇らしい景観を維持しながら快適で住みよいまちづくりを進めます。那覇軍港等の大規模空間については、将来的な経済発展を見据え、臨港・臨空の優位性等それぞれの特色が発揮される活用を検討します。

省エネを実践し、資源が循環するまちづくり

省エネを実践するライフスタイルへの転換を 促進するまちをつくる

- ◆地球温暖化対策に有効な行動を賢く選択していこうという国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」を、市民、地域コミュニティ、団体、企業等と協働で取り組みます。



ごみを減らし、資源として 再使用、再生利用するまちをつくる

- ◆ごみ減量化のための4つの行動理念(4R)を基調として市民や事業者の意識の啓発を図ります。
- ◆低濃度PCB廃棄物等の適正保管及び期限内の適正処分を指導します。
- ◆大規模な災害発生時の廃棄物処理を迅速かつ適切に実施するため、災害廃棄物処理計画を策定します。



自然環境が育まれた那覇らしい亜熱帯庭園都市のまちづくり

那覇らしい景観を実現し、次世代に受け継ぐまちをつくる

- ◆都市景観への配慮を促す仕組みを整え、固有の風土、歴史や文化を守り、それらを活かす景観形成を目指して、景観の骨格をつくり、市民や事業者と連携し景観づくりを広げていきます。



自然や水辺環境をみんなで育むまちをつくる

- ◆水質の環境基準を達成した河川の割合を増やします。
- ◆保全活動への参加を促すとともに、市民等と協働して、自然生態系等の環境保全と再生を進めていきます。



魅力ある公園を整備し、みどりを守り・育て・活かすまちをつくる

- ◆地域の力を活かした公園の整備・再生を推進するとともに、市街地の緑化を促進します。



地域と共にみどり豊かな美しい道路空間のあるまちをつくる

- ◆街路樹の緑化や美化を推進し、地域ごとに魅力のある景観形成を図ります。
- ◆雑草の除去や街路樹、草花の植付け及び管理などの活動を市民との協働により行います。
- ◆市民との協働により違反簡易広告物除却活動を行います。

暮らして良し歩いて楽しい快適なまちづくり

市街地の整備を促進し安全で快適な魅力あるまちをつくる

- ◆快適で魅力にあふれ、自然環境と調和した都市機能の更新を行います。
- ◆密集市街地の解消に向けた取り組みを行い、防災性の向上、土地利用の増進を図ります。
- ◆旧耐震基準で建築された建築物の耐震性能の向上を図るなど、地震に強いまちづくりを進めます。



誰もが移動しやすいまちをつくる

- ◆過度にクルマに頼りすぎず、公共交通や徒歩・自転車などで、まちのどこへでも快適に移動できるまちを目指します。



住宅環境が整備され、快適に住むことができるまちをつくる

- ◆住宅セーフティネットとしての民間住宅の積極的な活用と市営住宅の質の向上など良好な居住環境の形成を図ります。



人と動物が共生し、衛生的な生活環境が確保されたまちをつくる

- ◆犬猫の適正飼養の推進、及び飼い主のいない猫の繁殖を抑制する対策を図ることにより、生活環境悪化の低減を図ります。
- ◆ハブの捕獲、衛生害虫の防除を実施します。



災害に強い都市基盤の整備で安全安心のまちづくり

安全安心で快適な都市空間の確保されたまちをつくる

- ◆交通渋滞の緩和とともに歩行空間等を確保し、安全安心で快適な道路整備を目指します。
- ◆施設の長寿命化修繕計画を策定し、財政的負担の平準化を図りながら、効率的な修繕を行います。



強靱な水道で、いつでもどこでも安全安心なまちをつくる

- ◆災害に強い水道施設を整え、いつでも安全安心で、将来においても安定した水供給を可能にし、快適な生活ができるまちを目指します。



公共下水道を整備促進し、安全安心なまちをつくる

- ◆公共下水道の整備を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質を保全します。
- ◆既存下水道施設の予防保全型施設管理を強化し、老朽施設の計画的かつ効率的な改築を実施します。

那覇の魅力と特性を活かした土地利用を進めるまちづくり

地域の特性を活かし魅力が高められたまちをつくる

- ◆商業業務地区、住宅地区、歴史文化地区、臨海部や空港周辺部など、地域特性を活かした土地利用の誘導に取り組みます。



那覇港湾施設(那覇軍港)の跡地を活かしたまちをつくる

- ◆那覇港湾施設(那覇軍港)の跡地利用については、その個性やポテンシャルを活かすため、広域的な観点にも配慮し、本市の発展、ひいては沖縄県の発展に資する跡地利用計画づくりを推進します。



市民との信頼を深め、 効率的で効果的な行財政運営を行う



基本構想で描く「めざすまちの姿」を実現するためには、市民一人ひとりがまちづくりの主役となり、協働によるまちづくりをさらに深化させる必要があります。そのために、行政は、貴重な経営資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」を有効に活用しながら、市民との信頼をさらに深め、将来にわたり持続可能な行財政運営を行わなければなりません。

市民との信頼を深める職員・組織づくり

市民との信頼を深めるためには、市民から頼りにされる「ヒト」が継続して育ち、様々な「情報」を市民と共有する必要があります。職員が学び合い、研修機会を充実させ、政策形成能力や協働を推進するコーディネート能力を高めるとともに、社会環境の変化に適切かつ迅速に対応できる組織機構を構築します。職員へは、性の多様性を尊重することを促し、男女共同参画の意識を高めるとともに、職員の健康やワークライフバランスに配慮し、適正な定員管理を行っていきます。情報セキュリティ対策に万全を期して個人情報適切に管理し、様々な情報をわかりやすく整理し、発信、提供します。

効率的で効果的な行財政運営を行う

時代とともに多様化していく市民サービスを行うためには、効率的で効果的に「モノ」や「カネ」を管理するという行財政運営を行う必要があります。公共施設については、将来の推計人口に対応するための適切なあり方を見い出すとともに、民間の知恵と経験を活用します。行政経営的な視点を取り入れながら計画的な執行管理と財務情報に関する説明責任の充実による規律ある財政運営を行います。目的を共有し、時代に見合った行政サービスの品質を確保するとともに、まちづくりの羅針盤である総合計画の効果的な進捗管理の手法を確立します。

市民との信頼を深める職員の育成と組織づくり

社会の変化に対応できる職員の育成と 組織づくりをすすめる

- ◆課題を解決する力と意欲を持った職員を育成します。
- ◆時代の要請に応える組織・機構を構築し、スピード感を持った行政サービスの提供に努めます。
- ◆事務事業及び組織・機構の積極的な見直しや民間活力の活用等に努めます。

行政サービスの電子化により市民の利便性を高める 組織づくりをすすめる

- ◆ICTを活用した行政サービスの拡大・拡充を実施します。
- ◆情報セキュリティに万全を期し、情報資産を保護します。
- ◆誰もが公式ホームページで提供される情報や機能を支障なく利用できるような配慮の向上及び使いやすさの向上を図ります。

効率的で効果的な行財政運営を行う

市民満足度の高いサービスの提供をすすめる

- ◆限られた経営資源を効果的に活用するための総合的な行政経営システムを構築します。
- ◆市民の利用が多いサービスに対する対応力の維持・向上に努めます。
- ◆個人番号カードの普及を推進し、より一層市民サービスの向上に繋げていきます。

持続可能な財政運営をすすめる

- ◆予算編成において、常に費用対効果を意識することで不要不急な経費の削減に努めます。
- ◆収納機会の拡大につとめるとともに、収納組織の体制を強化します。
- ◆適正な施設配置や長寿命化の推進などに取り組みます。

アプローチ まちの「仕次ぎ」 ☆ NEXT-100

本計画期間中、市制施行100年を迎える本市にあっては、これまでの確かな歩みをさらに進めながら、次の100年にも想いを馳せなければなりません。100年を超える泡盛の古酒(クース)は、熟成された古酒に少しずつ新たな酒を加えていく丁寧な「仕次ぎ」により、その芳醇な香りとまろやかな風味を後世に引き継いできました。まちづくりも同様に、伝統の中にも新しい仕組みを取り入れ

ることが、まちにさらなる輝きと風格を生み、次世代へ引き継ぐことができると考えます。次世代の笑顔が輝く那覇市になるよう、まちの「仕次ぎ」を意識して、これからの100年を展望した、まちづくりにアプローチします。また、次の3つの「力」を、未来を拓く重要な視点として位置づけ、全ての施策を遂行する上で、それぞれの視点を強く意識することとします。

☆「つながる力」を広げる視点

小学校区を単位とし、自治会、学校、NPO、企業等が参画する新しいコミュニティや様々な地域資源が結び付くシステムを構築しながら、内外との交流の輪を広げるとともに、先人の知恵や工夫を次代へ継承することなどで、地域と人を幅広く縦横に結びつける、「つながる力」を広げる視点を意識します。

☆「稼ぐ力」を高める視点

成長産業分野への対応力を強化しながら、新たな発想で土地の高度利用を促進し、時代を牽引する人材や企業の集積を進めるとともに、未来を拓く人材の育成とその能力が発揮される環境を整えることなどで、自立的な経済基盤を拡大させ、市民の暮らしを豊かにする、「稼ぐ力」を高める視点を意識します。

☆「ひきつける力」が輝く視点

那覇らしい景観の実現や安全安心で快適な交通環境を整備しながら、郷土の歴史や伝統・文化を受け継ぐとともに、楽しく子育てできる環境や皆が笑顔で働く環境を整え、まちの魅力を高めることなどで、人々に、訪れたい、暮らしたい、働きたいと思わせる、「ひきつける力」が輝く視点を意識します。



仕次ぎ と まちづくり

泡盛は、「仕次ぎ」と呼ばれる熟成方法によって、深みのある味わいへと進化します。まちづくりも同様に、先人の知恵を受け継ぎ、後世に引き継いで行くことで、まちに風格と躍動感が備わると考えます。

将来人口 06

本市の人口は、2015年の国勢調査では319,435人となっています。那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンにおいては、2015年から2020年の間に人口のピークを迎え、その後、減少を続け2060年には、約254,000人にまで減少し、働き手である生産年齢人口の総人口に対する割合は63.9%から53.6%にまで減少し、人口構成も大きく変化すると推計しています。2030年の総人口は311,000人、生産年齢人口の総人口に対する割合は59.9%と推計しています。

子育て環境や雇用環境を充実させ、健康長寿の復活に取り組み、笑顔が広がる元気なまちを築く

ためには、人口減少に歯止めをかけなければなりません。本計画においても人口と生産年齢人口の総人口に対する割合において明確な目標を設定し、人口減少問題の克服に向けた確実な一歩を踏み出すこととします。2028年の人口の目標は315,000人とし、生産年齢人口の総人口に対する割合の目標は61%程度とします。



